

はじめての一般質問

6月26日、平成24年第二回県議会定例会本会議で、一般質問を行いました。

* 詳細と当日の映像は、事務所にありますので、ご興味のある方はご連絡下さい。

①平作川の不法係留船対策について

Q:平作川の現状を踏まえ、行政代執行等を含め、今後の不法係留船問題にどのような対策をとり、解決に向けた施策をされるのか、所見を伺いたい？

A: (県土整備局長)

平成24年度までは、自主的な移動を促すとともに、所有者不明の船舶の撤去などを行い、平成25年度からは県の移動指示に従わない場合は、行政代執行を実施する。平作川に於ける不法係留状態を横須賀市や警察と連携しながら、平成29年度までに解消するように取り組む。

(要望) この問題が解決した時、その施策は「神奈川モデルとして全国の模範になる」と、いう方もいる。神奈川県が大胆に不法係留船を一掃すること、無理と諦めずに徹底的に対策して頂けるよう、また、自動車の車庫証明のように、船を購入する際の保管証明書の義務化を、国に働きかけて頂きたい。

②「県のたより」の編集について

Q:読みたくなる媒体にする為に、改善の余地があると考え。身近な問題を例にとり、手にして読んでみよう!と思わせる紙面の工夫を行い、多くの県民に適切な情報として読まれる事が広報誌の役割。私の指摘も含め、マグネット力のある「県のたより」にして頂きたいと思う。そこで知事の所見を伺いたい。

A: (黒岩知事)

これまで以上に、文章は出来るだけ簡潔にし、内容や読んで欲しい対象を意識したメッセージ力ある言葉で発信することを徹底する。写真やイラストを効果的に活用し、思わず手に取ってみなくなるような紙面作りに務める。情報を一方的に発信するだけではなく、県民のみなさんから新たな連載記事のアイデアや、記事の取材に参加してもらう企画等、県民参加型の紙面作りへの工夫を進めていく。

③県のフェイスブックページ (FB) の充実について

Q:3月の予算委員会で、我が会派から県のFB設置を要望した。6月上旬に県のFB公式ページが開設された。このページを今後どのように充実させていくのか?所見を伺いたい。

A: (黒岩知事)

FBの特徴を活かし、日々タイムリーで新鮮な話題を画像なども織り交ぜながら発信する。また、県民からのコメントを活用しつつ、打てば響くように機敏に対応し、繰り返し見に来てもらえるよう、発信力のあるページ作りに取り組む。

④県立高校のインターンシップ (IS) について

Q:キャリア教育の中で実践的な取り組みとして、行っているIS教育。産業人材・福祉人材等の育成に取り組んでいる専門学校だけでなく、大学も受験する生徒が多い普通科高校でも、多くの生徒が取り組めるようにするべきだ。将来への職業意識を育てるため、県立高校のISの充実について、所見を伺いたい。

A: (教育長)

積極的にISを実施している専門高校や総合学科高校に比べ、多くの生徒が大学へ進学する高校でISを体験する生徒が少ないという課題がある。

将来どのような職業に就くのか、その為に大学で何を勉強すれば良いのかを意識させるISが重要である。今後は、普通科高校に於いても、より多くの生徒が、就業体験に積極的に取り組めるよう、県立高校全体のインターンシップ (IS) を充実させていく。

⑤ひきこもりの若者達を社会に復帰させる取り組みについて

Q:彼らが外出の機会を作り、社会復帰のキッカケになる県の取り組みについて伺いたい。

A: (黒岩知事)

これまでも青少年の支援活動は、青少年サポートプラザで行って来た。今年は小田原にも設置する。またこうした若者の多くが、インターネットを利用している事に着目し、今年度、ひきこもりの若者を支援するウェブサイト「ひき☆スタ」を5月末に開設した。

⑥問題を抱えた児童生徒への支援について

Q:例えば「いじめ」にあい、それが原因で不登校になっている児童生徒への支援の為に学校と関連機関との連携について、今後どのように取り組んでいくのか。

A: (教育長)

これまでも学校と福祉医療などの関係機関と連携して来た。今後はこれまでチームで課題解決に取り組んで来た対応事例を分析し、効果的な支援を行っていく。

(要望)

いじめに対して、児童生徒からの動きとして今、私が注目しているのが『スクールバディ』。藤沢市立の中学から始まったいじめ問題への生徒達の動きです。この活動が、全県に広がることを期待している。是非、支援して頂きたい。

* 紙面の都合上、要約し、要望も一部のみ掲載とさせて頂きました。